

各 位

令和8年度稲作情報 第3号について

このことについて、送付しますので業務及び水稻栽培の参考にしてください。

令和8年度 稲作情報 第3号

唐津農林事務所 東松浦農業振興センター長

1 気象概況(観測点:唐津アメダスデータ)

※表記方法:6 半旬別(1ヶ月を6分割。1半旬は1~5日となります。)

気温:平均 降水量・日照時間:合計

※平年値:平成22年~令和2年(11か年)の平均値

月	半旬	平均気温 (°C)		最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		平年	R8	平年	R8	平年	R8	平年	R8	平年	R8
4	6	16.4	16.1	21.2	20.0	11.9	12.9	19.6	20.0	34.4	12.0
5	1	17.4	16.7	22.4	22.0	12.8	12.4	20.1	26.0	35.5	43.0
	2	18.1	17.8	23.1	24.1	13.6	12.0	24.4	0.0	35.0	55.4
	3	18.8	19.0	23.7	25.5	14.3	14.0	26.1	0.0	35.1	54.1
	4	19.4	21.8	24.3	29.7	15.0	15.5	22.2	0.5	35.5	54.1
	5	19.9	21.0	24.8	25.0	15.7	18.4	17.8	10.5	34.0	22.5

5月4半旬以降の平均気温は平年より1~2°C高く推移した。5月4日から5月19日にかけて降雨のない日が続き、5月4半旬の日照時間は平年の1.5倍と長かった。5月5半旬は曇天の日が多かったため、降水量は平年の6割と短く、日照時間は平年の7割程度であった。

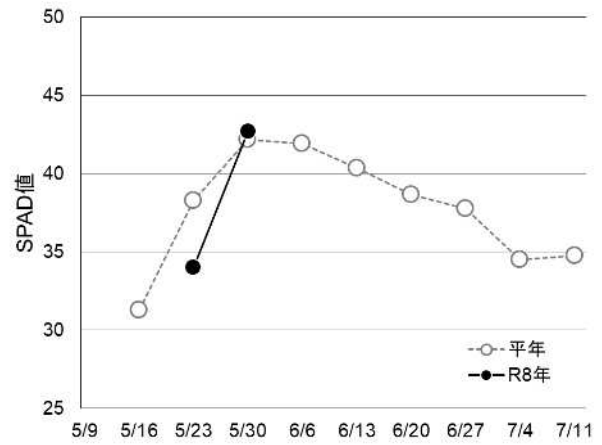
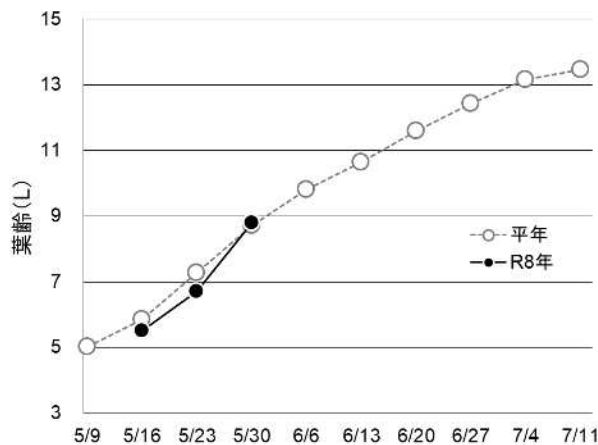
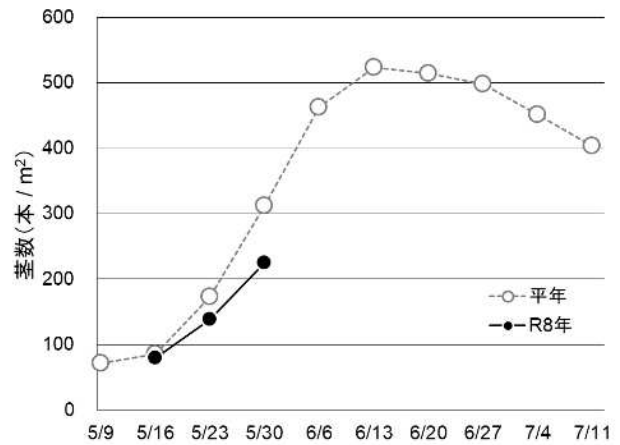
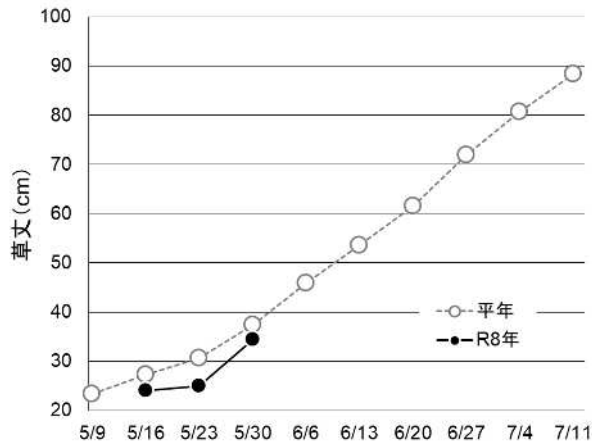
2 生育状況

上場コシヒカリ情報田調査結果 鎮西町潟 4月24日移植 18.3株/m²(60株/坪)

(5月26日調査結果)

項目	本年	前年	平年	前年比・差	平年比・差	備考
草丈(cm)	34.4	34.9	37.3	99	92	低い
茎数(本/m ²)	225	238	312	95	72	少ない
葉齡(L)	8.8	7.8	8.7	1.0	0.1	平年並
葉色(SPAD)	42.7	42.4	42.2	0.3	0.5	平年並
葉色(葉色板)	4.3	4.2	4.3	0.1	0.0	平年並

※平年値:令和元年~令和7年までの値から最高・最低値を除いた平均値



草丈は平年の 9 割まで回復したものの、茎数は平年の 7 割と少なく推移している。前回の調査まで葉齢と葉色の発現に遅れがみられていたが、平年並みまで回復した。

3 今後の管理について

(1) 有効茎が確保された圃場では中干しに移行する。

- ・1 株あたり 20～25 本の分げつ茎が確保され、株が開張して圃場の半分から奥の株間が見えなくなり出した頃が中干し開始の目安です。
- ・中干しは田面に軽い亀裂が入り、足を踏み入れれば足跡がわずかに付く程度に行ってください。
- ・中干しを行うことで土壌に酸素が供給されやすくなり、生育後半まで根の活性を維持することができます。また、下層へ根を伸ばして根量を増加させ、さらに株元の土壌を固めることで倒伏を軽減することができます。
- ・中干しによって地面を固めることで収穫時の作業性が向上します。収穫時にコンバインがはまり込むようなぬかるんだ圃場では必ず中干しを行ってください。
- ・中干しを行う前に溝切をすると、登熟期の水管理や収穫前の排水が行いやすくなります。
- ・移植が遅れた圃場では浅水管理により有効茎を確保した後に中干しを行ってください。

(2) 補植が終わった圃場では、置き苗を早急に処分する。

置き苗は病害虫、特に「いもち病」の発生源となるので処分してください。

(3) スクミリンゴガイによる被害が見られる圃場では薬剤による防除を行う。

スクミリンゴガイは5葉期頃までの(5月以降に移植した生育の小さい)稲に大きな被害を及ぼします。被害が見られる圃場ではメタアルデヒド粒剤等による薬剤防除を行ってください。また、浅水(水深3cm以下)にして貝の活動の抑制に努めてください。

(4) イネクロカメムシが見られる圃場では薬剤による防除を行う。

例年イネクロカメムシが多発し、吸汁による生育抑制が見られています。今年も圃場でイネクロカメムシの発生を確認しています。イネクロカメムシが見られる圃場ではスタークル豆つぶを散布してください。



イネクロカメムシ

(5) ガスの発生が多い圃場では一度落水しガス交換を実施する。

水田が長期間の湛水により還元状態になるとガスが発生し、生育抑制などを引き起こします。特にわらや堆肥などの有機物が大量に投入された圃場では、ガスの発生が増加しやすくなります。圃場に足を踏み入れた際にブクブクとガスが発生する場合や、株元の黒変が見られた場合は、速やかに落水し土壌中のガスを出し酸素を供給するガス交換を行ってください。なお、落水処理を行う際は、土壌表面が白く乾く白乾状態は避け、除草剤の処理層を壊さないように注意してください。



ガス発生の様子

(6) 用水不足により田面が見える箇所等で雑草が見られる場合は中後期除草剤を散布する。

雑草が発生している圃場では、雑草の発生状況に応じて中後期除草剤を選び、散布遅れのないよう速やかに処理してください。なお、薬剤によっては散布後に降雨が続くと効果が劣ることがあるため、気象予報を確認して散布してください。

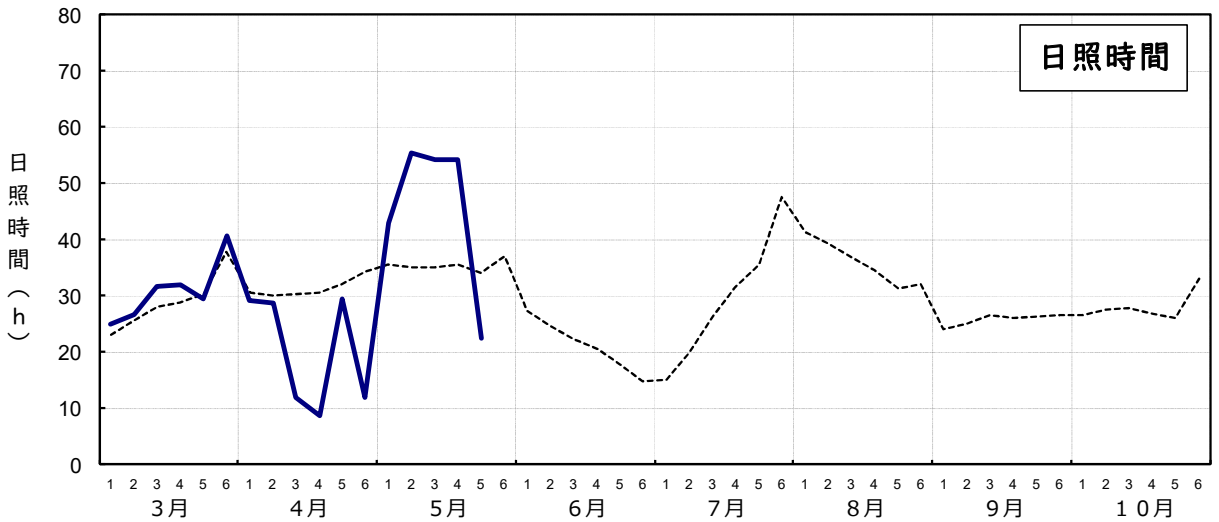
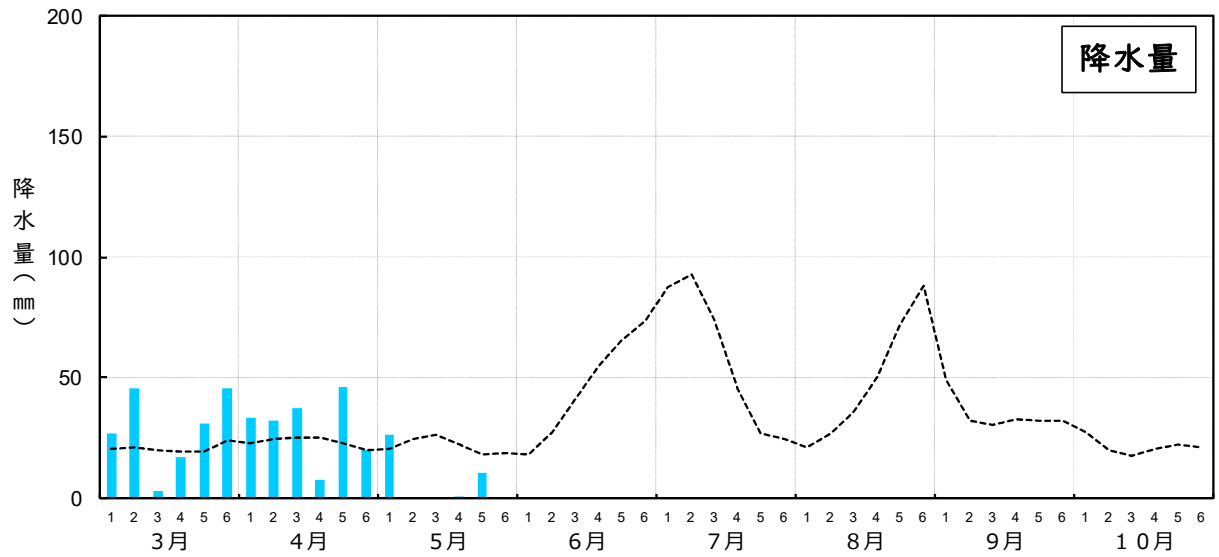
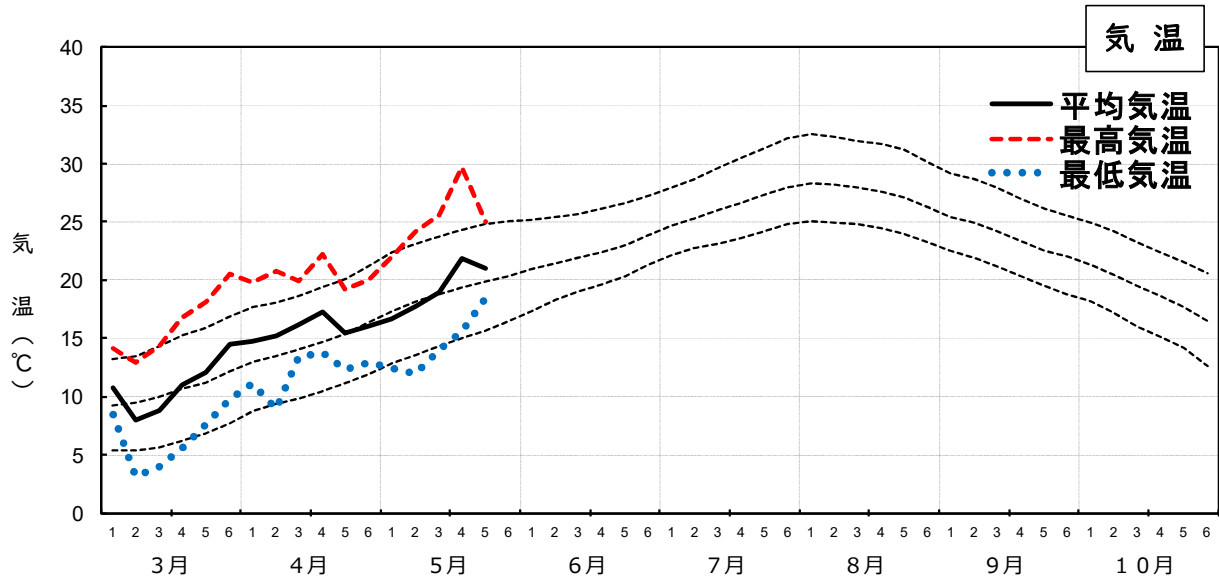
中後期除草剤一覧

除草剤名	対象	使用時期	備考
クリンチャー1キロ粒剤	ノビエ	移植後7日～ノビエ4L ただし収穫30日前まで	湛水散布 (3～4日湛水)
クリンチャーEW		移植後20日～ノビエ6L ただし収穫30日前まで	落水または湛水散布 (3～4日湛水) 展着剤加用
バサグラン粒剤*	広葉雑草	移植後15日～収穫45日前まで	落水～極浅く湛水散布 最低3日間 (浅水処理は5日間) 入落水しない
バサグラン液剤*		移植後15日～収穫45日前まで	落水～極浅く湛水散布 最低3日間 (浅水処理は5日間) 入落水しない 高温条件下では薬害が生じやすいため夕方散布する
クリンチャーバスME液剤	ノビエ および	移植後15日～ノビエ5L ただし収穫50日前まで	落水～極浅く湛水散布 最低3日間 (浅水処理は5日間) 入落水しない 高温条件下では薬害が生じやすいため夕方散布する
ヒエクリーンバサグラン粒剤	広葉雑草	移植後15日～ノビエ4L ただし収穫45日前まで	極浅く湛水散布 最低3日間入落水しない

※バサグラン粒剤およびバサグラン液剤の成分は、水に溶解して効果が不安定になりやすいため、
除草効果を高めるために落水散布し、落水状態を最低3日間維持してください。

※佐賀県特別栽培農産物表示制度に取り組んでいる圃場では、使用可能な薬剤の成分に上限があるので注意してください。

令和8年産 水稻作付期間気象図 アメダス観測値(唐津)



注) 平年値: 平成 22 年～令和 2 年の平均値